

各診療科の診療は下記の時間帯で行っておりますのでよろしくお願ひします。

診療科	時間	月	火	水	木	金	受付終了	特殊外来・その他	受付
呼吸器科 (総合内科)	午前	○	○	※検査	○	○	11:30	※水曜日は検査日のため休診。 在宅酸素外来(月・金曜日の14:00から)	
	午後	酸素				酸素			
消化器科	午前	※○	○	○	※検査	○	11:30	新患は紹介患者、再来は予約のみ。 ※月曜日の消化器科は9:30～診療開始 ※木曜日は検査日のため休診。	
糖尿病代謝 内科	午前		※○	※○			(未定)	※毎週月曜日午後 火曜日午前及び第1、3水曜日 ※紹介患者のみ	受付 ①
	午後	※○					(未定)		
腎臓内科	午前			※○			11:30	※第2・第4水曜日 紹介患者のみ	
内科 (1型糖尿病)	午前		※○					※第1火曜日のみ	
血液内科	午前	○			○		10:00	紹介患者は病診連携経由での紹介とする。 緊急での紹介は対応不可。 ※【3月】5日 予約のみの診療	
循環器科	午前	○	○	○	○	○	11:30	新患は紹介患者のみ(午前のみ)。 再来は予約のみ	
	午後	検査	○	検査	検査	○			
神経内科	午前	○	○	○	○	○	11:00	新患は紹介患者のみ(火・水・木曜日) 月・金曜日は再来予約のみ(11:00～診療開始)	受付 ④
精神科	午後				○		15:00	新患は紹介患者のみ ※【3月】5日 休診	受付 ①
小児科	午前	○	○	○	○	○	11:30	心臓外来(木曜日・受付は11:00まで) 慢性疾患外来(受付は13:00～15:00) 血液外来(第1金曜日午前) 【3月】13日 消化器外来(第2・4木曜日午後) 腎臓外来(第2・4月曜日)	受付 ⑤
	午後	慢性疾患 外来	予防接種	慢性疾患 外来	乳児健診	検査	14:00		
外科	午前	○	○	○心臓	○	○	11:30	心臓血管外科(水曜日8:30～11:30) 呼吸器外科(月1回木曜日か金曜日8:30～11:30) 【3月】20日 小児外科(月1回 14:00～15:00) 乳腺外科(月1回 第4月曜日9:30～11:30) ストーマ外来(第2・4水曜日午後:予約制)	受付 ②・③
	午後								
整形外科	午前	※○	○	手術	○	○	10:00	新患は『外傷による救急患者』『紹介患者』のみ受付※月曜日は 『外傷による救急患者』のみ。 再来受診希望は事前予約必要(問合せ平日14～17時外来へ)。 リウマチ外来(第2・第4月曜日(完全予約制))	受付 ④
形成外科	午前	手術	手術	○	手術	○	11:00	火曜日午後の再来は予約のみ(受付は13:00～13:30) フットケア外来(毎週水曜日 予約制)	受付 ⑤
	午後	○	○	手術	手術	手術	15:00		
脳神経外科	午前	○	○	○	○	○	11:00	新患は紹介患者のみ 10:00～診療開始	受付 ④
	午後	検査 手術	病棟	検査 手術	検査 手術	検査 手術			
皮膚科	午前	○				○	11:00	※【3月】27日(金) 予約のみの診療	
産婦人科	午前	○	○	○	○	○	11:30	リンパ浮腫外来、助産師外来(産褥)は要予約	受付 ②・③
	午後	助産師外 来(産褥)	助産師外 来(産褥)	助産師外 来(産褥)	助産師外 来(産褥)	助産師外 来(産褥)			
泌尿器科	午前	○	○	○	○	○	11:30		受付 ④
	午後	検査 手術	手術	検査 手術	検査	検査			
眼科	午前				※○	※○	10:00	第1、3、5金曜日及び毎週木曜日 新患は紹介患者のみ ※【3月】12日 休診	受付 ②・③
放射線科	午前	○	○	○	○	○	11:30	新患は紹介患者のみ<完全予約制>	
麻酔科 (ペインクリニック)	午前	○	○	※○	○	○	11:00	※11:00～12:00	受付 ⑤



B a t o n

宮古病院地域医療福祉連携室
平成27年3月号(vol.2)

消化器科のご紹介

当院消化器科は食道や胃、十二指腸、小腸、大腸の消化管疾患(炎症性疾患、悪性腫瘍など)や肝・胆・膵(肝炎、胆嚢炎、胆管炎、膵臓炎、悪性腫瘍など)の診断、治療などを行っています。特に、胆膵領域の経皮的治療、胆膵領域の内視鏡診断・治療、上部下部消化管早期悪性腫瘍の内視鏡診断・治療に力を入れております。

原発性肝癌は採血、画像等で診断後、初回治療の方に関しては岩手医科大学の肝臓内科に紹介し治療方針を確認したうえで、治療を進めています。

また、肝疾患に対するインターフェロン関連の治療に関しては、おうち消化器内科クリニック大内健先生と連携をとって進めています。

今年度、日本消化器内視鏡学会専門医指導施設に認定されました。内視鏡室の看護スタッフは5名。そのうち3名が内視鏡技師免許を取得しており、今年度も1名が受験予定です。日々の内視鏡検査介助の技術向上のみならず、患者さんにとって安全・

安心のできる環境を目指しています。

【診療体制】

当科は原則として初診の患者さんに関しては、他の医療機関からの紹介状が必要です。ただし、消化管出血などの緊急性を要する疾患に関してはこの限りではありません。現在、当院の地域医療福祉連携室とも協力し、初期診察に関しては「かかりつけ医」をもっていただき、当院の役割である入院加療が必要な急性期、重症患者さんに対する医療が速やかに行える体制を目指しています。

【胃大腸の二次検診について】

平成27年4月からは外来診察医が2名になるため、午前中の内視鏡検査数を抑えることとなります。そのため、二次検診に関しては、できるだけかかりつけ医で施行していただくよう呼びかけてゆく方針です。今後ますます近隣の医療機関との連携を深め、地域医療を向上させていきたいと考えています。

→次のページに続きます！

岩手県盛岡市出身。

県立宮古病院は、岩手県内の県立病院や秋田、青森の病院勤務を経て、平成23年4月から週一回の診療応援後、7月から常勤医師として勤務しています。

疾患に対する治療方針については、患者さん・御家族へ十分な説明を行い、患者さんの希望に沿った、最良の医療が提供できるように、常に心がけています。



消化器科科長
齋藤 慎二

消化器科医長
菅原 有子



北海道出身。

日進月歩の医学に触れつつ、自己を反省する毎日です。医師数減に伴い、体力的に不安ですが、“一日一日、自分のできる事”をやろうと考えています。

宜しくお願いします。

【実績】

平成 25 年度の内視鏡検査件数は上部 1662 件、下部 1140 件。平成 26 年度は 2 月現在で上部 1650 件、下部 1170 件で昨年度に比較し、今年度はやや増加することが予想されます。緊急内視鏡は、21.7 件/月で、夜間の緊急内視鏡も看護師の呼び出しにて対応しています。

【その他、当科で行っている特殊治療】

- ・胆道癌、膵癌に対する内視鏡的治療や経皮経肝の治療
- ・潰瘍性大腸炎に対する白血球除去療法
- ・肝動脈塞栓術(放射線科)
- ・胆道結石に対する内視鏡的切石術
- ・消化管狭窄に対するバルーン拡張術
- ・食道・胃十二指腸・胆道・大腸の悪性狭窄に対するメタリックステント留置
- ・超音波内視鏡による胆膵疾患の診断
- ・ヘリコバクターピロリに対する除菌療法

表 1 (平成 25 年度、26 年度 2 月現在の実績) (件)

	H26 年度 3 月現在	H25 年度
上部内視鏡的粘膜下剥離術(ESD)	17	23
下部内視鏡的粘膜下剥離術(ESD)	13	8
内視鏡的大腸粘膜切除術(EMR)	160	150
食道静脈瘤硬化療法(EIS)・結紮術(EVL)	12	25
超音波内視鏡検査(EUS)	58	89
EUS 下針生検(FNA)	8	16
ERCP 関連手技	196	171
内視鏡的大腸ステント留置術	6	6
ダブルバルーン小腸内視鏡	11	6

(文責：齊藤慎二)

4 月からの診療体制のお知らせ

【心臓血管外科】

外来診察を休止します

【麻酔科】

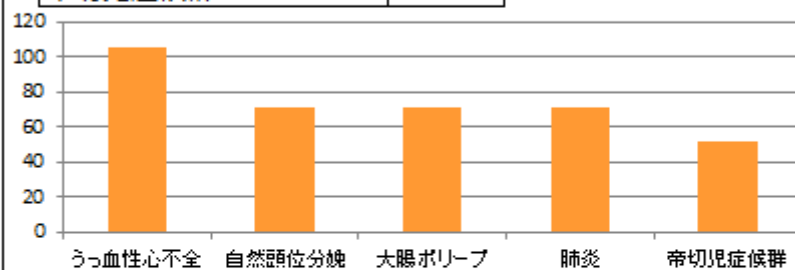
外来診察は毎週水曜日のみになります

ご紹介の際には
ご注意ください

宮古病院のデータ

【平成26年度前半 入院患者主病名トップ5】

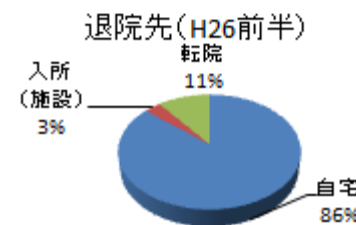
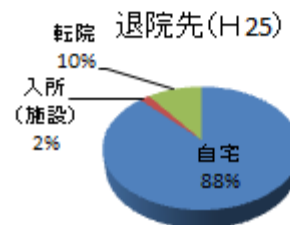
病名トップ5 (H26前半)	件数
うっ血性心不全	106
自然頭位分娩	71
大腸ポリープ	71
肺炎	71
帝切児症候群	52



【平成25年度～平成26年度前半 入院患者の退院先割合】

★退院先

退院先	H25	H26前半
自宅	4,962	2,485
施設入所	103	97
転院	573	303
計	5,638	2,885



☆comedical紹介☆

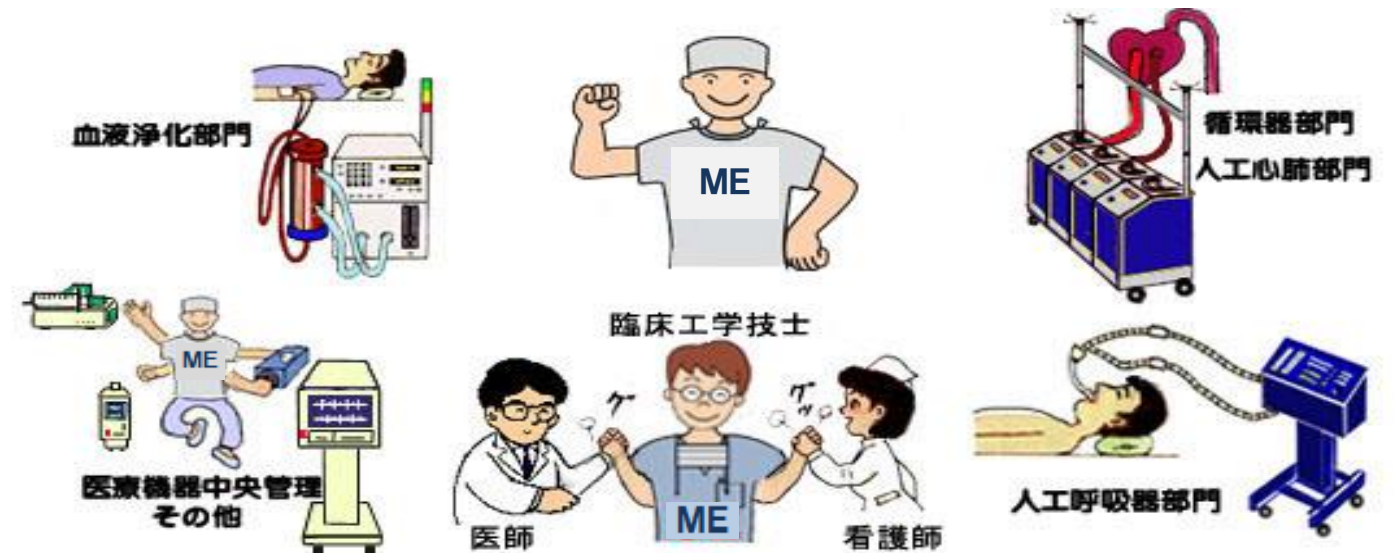
こんにちはMEセンターです

皆さんこんにちは。MEセンターです。と言われても何する人なの？と思われる方が多いかもしれません。

近年の医療の進歩と共にそれをサポートする医療機器も進化、多様化しています。「臨床の現場での医師、看護師だけでは種類や操作を覚えていくのも大変だ」「安全に使いこなしていけるだろうか？」「これは放射線技師や検査技師、薬剤師のように、機械の専門知識を習得した者が必要だ！」という事からできたのが国家資格である臨床工学技士(Clinical Engineer)で

す。Medical Engineer というつづりから ME ともいわれましたが、医療機器の Medical Electronic や「臨床」という意味合いの Clinical が直訳的なことから最近では CE と呼ばれています。

さて、我々の業務はおもに生命維持管理装置である人工呼吸器、除細動器、保育器、体外循環装置、人工透析装置といった機器を医師指示のもとでの操作および保守点検を行っています。平成 8 年度に県立中央病院に初めて配置されてから現在 11 の県立病院に 43 名在籍し宮古病院には現在 3 名勤務しています(平成 27 年度よ



り 4 名体制に強化！)

少ない人数ではありながら昨年度よりオンコール体制をとっており 24 時間の循環器急患対応、医療機器の不具合対応をしております。医学の知識と工学の知識を兼ね揃えてはいますが、その業務は診療報酬にはなかなか反映されてはいません。しかし、年々施設基準の中に「技士が勤務すること」といった我々の存在が条件になってきていてそのニーズは高まってきております。

地域基幹病院という位置づけで山田病院へのサポートも年数回行っています。沿岸地域は機器メーカー、代理店から遠く故障や不具合が発生すると長い時間機器が使えない、更にはサービスマンの交通費、技術料といった費用の発

生があります。こうした部分を我々でカバーし簡単な修理、保守を行うことで費用削減、機器休眠時間の短縮も病院運営に力となっています。

「医機分業」をめざして良質で安心安全な地域医療の提供にこれからも努めてまいります。宜しくお願い致します。

